ゆめごよみ風だより97号　KSKP通巻12100号　2021年12月11日発行

編集人　特定非営利活動法人　ゆめ風基金事務局

（〒533-0033大阪市東淀川区東中島1-13-43-106）TEL06-6324-7702・FAX06-6321-5662

郵便振替00980-7-40043 MAIL:info@yumekazek.com WEB　https://yumekazek.com/

一九八四年八月二十日第三種郵便物承認毎月（1・2・3・4・5・6・7・8の日）発行

災害を忘れてしまう、風化させないために　阪神淡路大震災を経験して

理事　石橋　宏昭

1995年1月17日午前5時46分、阪神淡路大震災の日、寝ていると縦揺れ・横揺れ、ゴーっという音で目が覚めました。親父と二人暮らしで、2階建ての戸建ての建物で、たまたま2階には誰も住んでいませんでした。古い建物で、柱は4本とも傾いたものの、2階が空き家だったために何とか倒壊は免れました。

近所付き合いがあったため、近所の人たちが助けに来てくれました。そこには外国人も住んでいて、その外国の人も助けに来てくれました。

その後、「えんぴつの家」が運営する「六甲デイケアセンター（以下センター）」に身を寄せるために車を走らせましたが、道はデコボコ・がたがたで行き止まりになっているところもありました。特に灘区の都賀川付近では家が倒壊していて、センターに行くのに普段は20分のところが2時間半以上かかりました。センターは、鉄筋で無事でしたが、壁には亀裂が入っていて、センターの斜め前の家も崩れて、人が閉じ込められていました。3日後にようやく引き出されたもののすでに亡くなっておられ、センターのワゴン車で、私が運転して安置所まで運びました。

震災から2日後、震災直後に設立した「障害者救援本部」に行きましたが、途中あまりに風景が変わり果てていたことにとても驚きました。

4日後から職場に復帰しました。センターから職場に毎日通いました。結局、センターに3か月ほど身を寄せさせてもらいました。

その後、仮設住宅の抽選では2回目に当たり、ポートアイランドの仮設住宅に入れました。しかし、仮設住宅での大きな問題は駐車場がなくて困りました。その時、たまたま駐禁除外指定車標章の期限が切れていたため申請に行ったものの、住所をポートアイランドに変更していたため、仮設から半径2キロ以内で駐車場を探せと言われました。ほとんどが月極のもので、仮設内の広場も駐車場としては認められず、そのため県警本部と住宅局とのやり取りを何回か繰り返すことになりました。神戸市から「書類に一筆書いてもらえば警察も納得するだろう」ということで、その書類を基に県警・住宅局と協議をして、ようやく駐車場としての使用を認められました。

その後1年が経ち、賃貸住宅を借りるため、百ヶ所もの不動産屋さんを回りましたが、全く貸してくれるところはありませんでした。障害者であるということと、そもそも賃貸住宅が少なかったからだと思います。そこで、借金して分譲マンションを購入しました。

神戸市全体が被災していると思われていましたが、東灘区の一例として挙げると、阪急沿線の山の手はほとんど被害がありません。西区・北区も被害がなく電気もガスも届いていました。そこで思ったことは、市全体が震災に遭ったように思われる場合もありますが、断層の付近と断層から離れていて岩盤が強いところの大きな違いを目の当たりにしました。

震災から26年経って、震災の教訓も薄らいできています。そのことを肝に据えながら、次の災害

に備えて避難や防災に備えていきたいと思いますが、日々の生活で忘れられていく可能性が大きいので、みんな一緒に教訓にしていきたいと思っています。

最近のテレビでみたのですが、大きな災害から時間の経過とともに、災害が予想されても避難をしないという人も多いそうです。よっかいちでは毎年、「よっかいちし しみん 総ぐるみ総合防災訓練」(おせっかい訓練)というものを毎年開催して、住民に声掛けをして訓練に引っ張り出すそうです。炊き出しも含めてやっているそうで、そういう取り組みも必要ではないかと思ってみていました。

東南海地震や、大阪では上町断層の地震が言われていますが、豪雨災害も含めて、あまりみんなの意識の中にないと思うので、そのへんも含めて避難体制、連絡方法、避難場所の確認・確保が必要ではないかと思います。今はコロナ禍の真っ最中ですが、コロナと震災、水害などが合わさった時の対策をも互いに考えていかないと行かなければならないと考えていますので、皆さんとの共有を図りたいです。

第 16 回「ゆめ風であいましょう 東京」報告

ウェブ配信も広がりにはいい！

代表理事　牧口 一二

コロナ・デルタ株が大暴れしている 9月19日、今年も開催するや否や迷わされ、サブタイトルの「こんな時こそ笑いを」に添って無観客のウェブ配信で決行となる。

ゲスト出演の松元ヒロさんは観客とのヤリトリで話を展開されるのでそれが心配だ。小室さん親子の演奏はウェブ配信の経験ありでひと安心。

当日、午後1時30分開演の 15分前、とつぜんボクにマイクが届く。開演前に舞台に出ておしゃべりされていた永六輔さん（ゆめ風基金初代呼びかけ人代表・2代目は小室等さん）にマネてゆめ風の説明をせよとの意向。おかげでゆめ風の発足から今までをゆっくり説明できた。

いよいよ本番、松元ヒロさんの登場。「憲法くん」で有名な人。テレビではめったにお目にかかれない。辛口の政局批判でマスコミ界は及び腰。松元さんから「せめて観客が 10人ほしい」と言われ、あわてて家族や親しい友に連絡、25 人が集まった。さぞ、やりにくかったことだろう。でも、「只今４００人が視聴」の直後、配信機器まで笑ったのか突然ストップ、ほぼ 30～40分間、松元・小室・ボクの鼎談。「つい生活保護を“もらう”と言うけど、違うよね。“使う”か“利用する”だな、権利なんだから」と松元さんの弁。

やがて配信が復元して視聴200人まで戻った頃から小室等さん・こむろゆいさんのライブ。「木枯し紋次郎」のテーマ曲で 1972年に大ヒットした「だれかが風の中で」（和田夏十作詞）が始まる。それから数曲、ゆめ風応援歌（永六輔・谷川俊太郎合作詞）など、小室親子の熟練味を増した歌声が響いて、松元さんも加わってのフィナーレ、「ほほえむちから」（谷川俊太郎作詞）で締めくくられた（すべて小室等 作曲）。

終わっての感想の中に、「配信にも積極的に取り組んでいく必要がある。このイベントは大阪と東京でしかやっていないので、地方からも参加してもらうにはとてもいい方法だ」があった。

（写真 小室 等さん、こむろ ゆいさん、松元ヒロさん、牧口代表がフィナーレ曲を歌う場面）

2021年水害関連

2度目の被災　佐賀県武雄市　児童支援事業所ガラパゴス　小柳　由加里

10月に入り、朝晩涼しくなりました。せみの声から鈴虫の声となり、入道雲から鰯 雲へ。いよいよ秋の到来です。児童支援事業所ガラパゴスは、いつもの場所を離れ、県よりお借りした拠点で笑顔で運営中です。

先日、「No.96 ゆめごよみ風だより」が届きました。「今年の夏はプールを設置し、そのプールを片づけます」。というメッセージを掲載していただきました。私どもが密かに切実に、「前回は水害で流れてしまったけれども、今回からはプールを片付けて夏を締め括りたい」という願いを書かせていただいたのですが、やはり自然とは残酷なもので…ガラパゴスは今年8月 、2度目の水害の被害にあっております。

2019年3 月に佐賀県認可事業　放課後等デイサービスを開所いたしました。それから半年を待たず、2019年8月に1度目の水害に遭いました。浸水の高さは、140cmを超え、建屋、備品を全て失くしてしまいました。そこから、ゆめ風基金はじめ多くの支援を頂き、1日も早い復興を願い作業を行いまして、約3ヶ月後にサービスを再開いたしました。

それから2年も経たずして、今年8月14　日、再度の水害です。全国的にも例を見ない2年でまたもや大規模水害に遭ってしまいました。まさかの2度目。8 月 11 日より降り続いた雨は、止むことなく、前回水害の水位を超え、160cm以上。2019年よりさらに大きな被害をもたらしました。

「今回は片付けるところまで」。と半ば祈りながら設置した室外プール。またも流されてしまいました。設置してたったの2週間。気持ちよさそうに遊んでいた子どもたちの顔が思い浮かびました。

プールをはじめ、図鑑、絵本、コミック、iPad、パソコン、デジカメ、積み木、ブロック、カードゲー

ム、トランポリン、勉強机、DVD、テレビ。たった2年で、またもや全て、失ってしまいました。さすがに今回は、前回以上に落ち込みました。前回は水が引いてすぐ片付けを始めました。しかし今回は再起の気持ちが沸き起こらず、頭を抱えてしばらく過ごしました。夏休みが明けるのに、学校に向かう足が一番重たくなるこの時期に、また前回のように子どもたちに寄り添えない歯がゆさが、身体の中を駆け巡ります。

「子どもたちはガラパゴスの現状を知って不安になっていないだろうか。今どうしているだろうか」という考えと、「この先、放課後等デイサービスをつづけていくことができるのか」という考えが押しては引くのです。

そんな中で私たちに現実を教えてくれたのは、やはり利用者である子どもたちと保護者の皆様でした。保護者の方より、「なんでも手伝うから、やめないでほしい！」とご連絡をいただいたり、水害前と変わらない支援会議の出席や、子どもたちの気持ちを、夏休み明けの学校に向かわせるためにはどうしたらいいか等のご相談を受け、動き出せました。

現状、冒頭に書きましたが、前回では叶わなかった、仮拠点のサービス提供が佐賀県より認められ、大きく違う環境ではありますが、被災して4日後よりサービスを提供できております。しかし、もともとの事業所の復旧はまったくの手付かずです。また同じ場所で再建するのか？　ここで再建したとしても、福祉事業所の被災は本当に計り知れないレベルで大きな影響が出ることを2度も経験して、場所の選定から入っております。

最後に、私どもは本当に運が良いなと改めて思ったこと。それは、今回も、利用者やスタッフが被災しなかったこと。お盆の時期もあり、8月14日はスタッフもお休みを取り、ガラパゴスの

休業日でもありました。前回と同じ、誰一人怖い思いをしなくてすんだ事を考えますと、ラッキーなガラパゴスです。

こんな環境であっても、子どもたちの声と笑顔を見ることができるなら、一生懸命立ち上がります。今後ともご支援を承りますよう切にお願い申し上げます。

（写真　再び水害に遭い、いちからかたづけ。泥水をかきだしたところ。）

身近に起きた災害…熱海市土石流災害

静岡県熱海市　心象めぐみ会共同作業所　山根　さよ子

心象めぐみ会共同作業所は、利用者在籍17名　、職員6名の就労継続支援B型事業所です。7月3日の土石流災害では、建物から歩いて1分の所で土石流が発生しました。避難生活をした利用者もいましたが、幸いにも自宅や作業所の建物への直接的な被害はありませんでした。しかし、作業所が規制線の内側で敷地内が捜索活動の拠点場所になった為、開所ができなくなってしまいました。利用者さんには無期限の自宅待機。伊豆山地域以外には被害が無く日常生活が送れる環境でしたので、市内のどこでもいい。1日でも早い再開を…と奔走していた所、たくさんの方のご尽力で発災から10日目に熱海駅前にある第一ビルの貸会議室を無償でご提供いただき、仮作業所として利用者を迎えることができました。

イスとテーブルしかない会議室で手探りでの再開。家族が働きに出ている間、一人で留守番させるのが心配という方や1人暮らしで寂しい、生活リズムが乱れやすい等、早めの支援が必要な方から限定的に通所を開始。感染症対策をして、26日　からはフルメンバーを迎え入れる事ができました。7月31日　には捜索活動が縮小され、敷地内にいた捜索隊が撤収しました。3か月

の間、電話・インターネットが使えない状況が続き、8月15日の大雨では土石流現場から泥水が流出し、作業所前の道路に腰高まで冠水。そのような状態で今後もあの場所で作業所を継続してよいのか？　新しい場所に移った方が良いのか？　でも熱海は急傾斜地ばかりだし、土地が少ないし、お金はないし…しかし、利用者さんの大事な居場所。社会とつながれる場所をなくす訳にはいかない。という思いで、毎日奮闘してます。

7月の開所日数が少なかったため運営費が激減。たくさんの方にめぐみ会の窮状を知ってもらいたい。という気持ちで、クラウドファンディングを立ち上げ、たくさんの方に支援して頂きました。まだまだ課題が山積みですが、全員の力を合わせて頑張っています。

作業所の情報は、随時ホームページにて更新をしています。お時間があるときにでも見ていただけると幸いです。ホームページ　http://atami-megumikai.com

6p

COVID-19関連

クラスター感染の経験から～コロナ禍で改めて問われているモノとは

ＮＰＯ法人　日常生活支援ネットワーク　福田　悠介

第４波。大阪での感染者数が一気に急増する中、関係者やその周りなどでもそんな情報や報告がチラホラと入りはじめた4月中旬、職員1名の感染報告をうけました。

感染者の急増で保健所がほとんど機能していなかったこともあり、手探り状態の中で接触者の

洗い出しと対象者へのPCR　検査対応などを、自らの法人の対策本部独自で開始しました。ただ、「このウィルスはそんなに甘くはないよ」と誰かが言ったように、想像もしていないような速さで感染が拡大していき、日々、新たな感染者が判明、1　週間で9名 の感染が判明しました。中には「まさか?!」と思うようなメンバーや職員から感染が判明するなど、それはどこか、映画やアニメのワンシーンを観ているかのようで、検査結果の報告をうけるたびに、絶望感や虚脱感に似た感覚を覚えました。

　ですが、そんな厳しい状況 の中でも、それぞれにリスクを抱えながらも職員同士で協力し、それぞれがその時に出来る必要な対応をおこない、また、他の障害者団体からも「いつでも協力 するよ」というたくさんの声や助言をいただきながら、感染拡大の抑え込みをおこない、最後の濃厚接触者の待機期間が終了 する5月中旬 には収束となりました。

　コロナ禍とは何か？　新型コロナとは何なのか？　そのことをやはり今でも考え続けています。今回、発熱などでたいへん苦しい思いをされたメンバーや職員もおり、また、無症状の感染者であっても不安な生活を過ごされました。それと同時に、人と人とが離れていくという感覚を肌身に感じさせられました。今回の対応期間中 も噂 や誤った情報、デマによって辛い想いをされた方が少なからずいます。

　自分自身、このクラスターを経験したことで、このウィルスへの認識が　180　度変わりました。想像もできないような速さで感染し、苦しめ、命 を奪っていく病原体としての恐怖。それぞれが感じる閉塞感や焦燥感、そこから生まれる他者への抑圧と偏見、人と人との繋がりをこのウィルスが引き裂いていく恐怖、などがそれです。

「差別」「分断」「孤立」。何と闘い、誰に寄り添っていくのか？　これまで私たちが何に対して抗ってきたのか？ このコロナ禍において改めて問われているように感じます。

（写真　防護服を着て対応に追われるスタッフ 2 人）

7p　ゆめ風ネットからこんにちは 16

★拓人こうべ　稲本　須磨子(いなもと　すまこ)

神戸にあります「NPO 法人拓人こうべ」です。

現在の主な活動は、1995年被災地障害者センター発足時に事務所を間借りした縁のあるBeすけっとスタッフ／当法人の監事の井奥さんと山﨑さんといっしょに「重度訪問介護従事者養成研修」を開催しています。この研修はヘルパー派遣事業所が独自開催しなくても、①実習受け入れ団体になる、②資格を持たないヘルパー希望者がでたら申し込む、③自宅でテキスト学習、④実習、⑤修了証が届く仕組みになっています。自分たちの探してきた人材を自分たちの力でヘルパーに育てることが出来ます！しかも、「被災地おんがえしプロジェクト」として、この研修で収益がでたら被災地応援のゆめ風基金に寄付をしようと企てています。今のところ寄付にはまだまだ遠いですが…。

また、研修に引き続いて前述の二人と「ゆめを育てる会」と称して、作戦会議を月2回程度行っています。しばらくの間、私は事務局一人でさびしかったのですが日常に話合える仲間ができて笑えています。あらためて仲間は必要です。

これまで応援してもらった全国のみなさんに私たちの活動の方法を発信することによって、全国

のみなさんの役に立つことができたら！と思っていますが、その兆しが見えているような気がします。ぼちぼち細々とやっています。全国のみなさん、今後もよろしくお願いいたします。

【重要】クレジットカードでのご寄付−領収日について（確定申告の寄付金控除）

2022年の確定申告で、「寄附金控除」をお考えの方にお知らせです。

クレジットカードでご寄付をいただいた場合、領収書の日付はクレジットカードでのご決済日ではなく、寄附金が決済代行会社からゆめ風基金へ入金された日付　となります。原則、毎月・月末までのご決済は翌月20日に当基金へ入金されます。2021 年 12 月以降にご寄付を頂いた場合、領収書の日付は 2022 年 1 月 20 日となりますので、確定申告で寄附金控除をご希望の方は十分ご注意くださいますようお願いいたします。

（クレジットカードによる 2021 年 12 月の寄付控除手続きは 2022 年ではなく 2023 年になります）

2021 年12月付けの領収書をご希望の方は「郵便振替」にて、12月31日中にお手続きくださいますようお願いいたします。

リレー・エッセイ 「災害と障害者」 第 70 回　　8，9p

障害者が地域の中で生きるとは（前編）

倉田哲也　プロフィール：**1966年11月22日生まれ。1ヶ月の早産で母体から逆子で生まれ、 へその緒が首に巻き付き、呼吸が出来ず脳障害をおこし手足の一部に麻庫を残す。手が使えない為、 生活の全般**

を足で行う。1972年より県立支援学校で生活を始める(幼稚部・小学部・高等部計 13 年間) 1985年4月高校卒業後、『くまもと「障害者」労働センター』に入る。1990 年 6 月 二代目代表に就任。 2004年6月自動車運転免許取得。日本初、足でハンドル操作式運転。現在は熊本市でホームヘルパー制度を利用しながら暮らしている。

熊本地震の時

熊本地震の前震が起きた5年前の4月14日夜、私 はくまもと障害者労働センターのメンバーの安否確認を急ぎ、事業所内に食事や寝床を確保しました。なぜ自前の避難所を用意したかというと私 自身、一般の避難所に行くという選択肢がなかったからです。

過去の災害で、障害者にとって避難所は過酷な場所でした。足の踏み場もなくバリアフリーに程遠い所では、障害者はトイレにも行けません。食事配布の行列に並ぶことが難しい人もいます。

16日の本震で安否が確認できなかったメンバーの無事が3日後、分かりました。1人暮らしの彼は近所の避難所にいましたが、車椅子やスマホは自宅に置きっぱなし。言語障害で周囲とのコミュニケーションが難しく、連絡が取れずにいました。それでも彼がピンチを乗り切れたのは、日ごろから近所付き合いがあり、一緒に行動してくれた人々が避難所にいたからです。

地域には多くの障害者が暮らしています。しかし、熊本地震では孤立した人が少なくありませんでした。「困りごとはありませんか？」とちらしで呼び掛けると、助けを求める声が次々に届きました。

これらの要望に応えられたのは、長年交流があった関西や東北の障害者団体から駆け付けてくれたボランティアのおかげです。一方で震災は、身近な地域の人たちとの 絆 を芽生えさせ、

深めてくれました。私たちの事業所で作っているお菓子を配り、喜ばれることもありましたよ。

熊本地震の経験は、互いに助け合うことの大切さを教えてくれています。

地域の中で「働き・暮らす」

私たちのくまもと障害者労働センターは、「誰もが地域で働き、地域で生きる活動」を理念に掲げ、障害者が地域の中で「働き・暮らす」ことを実践しています。

大切にしているのは当事者の特性を生かすことです。体を動かすのが得意な人は販売を、絵や文字を書くのが好きな人はポップ作りを担当。受け身でなく、一人一人が主体的に仕事をしています。

労働センターに通い始めたばかりのメンバーに「僕の担当者は誰ですか？」と尋ねられたことがあります。「担当者はいないよ、困った時はみんなで支え合うんだよ」と答えると不思議そうな顔。それまでの彼は特別支援学級や施設だけで過ごし、接する人は学級担任や担当者といった支援者に限られていました。

宿泊研修で同室になった私は、食事や入浴の介助を彼に頼みました。不安げでしたが自分も誰かに頼られる存在だと気づいた彼は、以前の指示待ちから脱皮。以降、自ら積極的に仕事や仲間の手伝いをするようになりました。彼は現在、実家からグループホームに移り住み、地域の中で「働き・暮らす」ことをまさに実践しています。

障害者雇用を進める企業でも、自尊感情を高める私たちの取り組みを参考にしてほしいと思っています。

共生社会の実現

2004年6月、私は待望の自動車運転免許証を取得しました。

手が動かせない私は「右足でハンドルを回せるグリップ」「左足で動かせるアクセル、ブレーキ、方向指示器」「20センチ昇降する運転席」を備え、助手席には教習用の補助ブレーキも付けました。

私の行動範囲は格段に広がりました。一方、近年目立つセルフの給油スタンドの増加は、障害者ドライバーに不便を強いています。そこで以前、障害者差別解消法に関する窓口に相談し、事業者側と交渉しましたが、「人手不足」との主張の間で折り合えませんでした。

差別解消法の充実はとても大切。ただ、法律がなくてもお互いを理解し、気遣い、助け合える「共生社会」が理想です。みなさんと一緒にそんな社会を実現したいです。

（後編に続く）

カンパをいただいた団体　-2021/6-2021/8　10p

お店に募金箱を置いてくださったり、街頭募金やバザー、イベントで集めてくださったりしています。

本当にありがとうございます。（記載もれがありましたら本当に申し訳ありません）

6/18,8/6,8/26　健康アメニティたのし（新宿区）

6/25　そよかぜ(箕面市)

6/28　なごみ薬局（松山市）

6/29　いるか設計集団(神戸市)

6/30　おもやい（佐賀武雄市）

7/2 いちご会（札幌市）、芙蓉産業㈱（東淀川区）

7／7
7/7 妙元寺（名古屋市）

7/12、9/28 得雄寺（長崎南松浦郡）

8／4
8/4 さんりく・こすもす（大船渡市）

8／26
8/26 エフエムジー、みのおチャリティコンサート（箕面市）

事務局の動き 10p

事務局の動き 7月～9月

◆毎週月曜日、事務局会議

7／1
7/1障大連訪問

7／5、7／29
7/5、7/29、8/25 96号編集会議

7/10 ろうきんサポートV贈呈式、理事会

7/21 立正大学講演

7/28、8/25、9/22、BCP（事業継続計画）会議

8/2 障害者防災検討会議

8/3大阪府人権教育研究協議会講演

8/4 自立生活支援センター富山講演（zoom）

8/6 檸檬通信取材

8/22 ビッグアイ収録

8/24 中学生プロジェクト打合せ

8/27 ポジ祭実行委員会

9/21 ろうきんイベントリハーサル

会計・救援金11p 別紙にて

そよ風、つむじ風、六甲おろし/各地からの風だより 12p

2021/6～2021/8

◈今できることは何か、自問自答の毎日です（東京多摩市）

◈大坂北部地震から３年、また大きな地震が起きた時のために送金します（豊中市）

◈弱い国、弱い人を強い国、強い人が守らんことを願う…（有田市）

◈ 私もお金に困っています…ささやかな夢を見て(東大阪市)

◈今、こころが少しでも動くことから初めて行きたいと思います（大阪八尾市））

◈「各地からの風だより」を読むのが好きです、協力なさっている皆様のことを思いえがきながら読ませて頂いてます（東京荒川区）

◈気持ちを表す場所だと思っています（江東区）

◈リレーエッセイの須賀さんの文章にシビレました。宝石のようなことばがアチコチにちりばめられて美しい！いろんなこと、悟っておられますって！感謝を教えてくださってありがとう（大阪東淀川区）

◈95 号ありがとう！リレーエッセイ、中身はいいのに読みにくい！線引くとかして！わずかでごめ

んね、気持ちばかり（横須賀市）

◈肩の力を抜いて日々過ごせるようにと願うばかりです。いつもありがとうございます（金沢市）

◈高齢のため今回で卒業させて戴きます。よろしくお願いします（長崎市）

◈私も足腰、手指の痛みとつらいですがわずかですがご協力したいと思います（大阪池田市）

◈小さな力ですが（吹田市）

◈95号のリレーエッセイ「ぼくの願い」を読んで、とても素直な気持ちになれました。どうもありがとう（東京荒川区）

◈永さんをはじめ物言う人がみんな逝ってしまいました。私達が立ち上がらなければ（武蔵野市）

◈応援する場所が増え少なくなりました。沖縄、反原発、また現政権（所沢市）

◈牧口さん、お元気そうで嬉しい。私も杖。かのスフィンクスもびっくりの面黒い人生です。でも牧口さんには及ばず！（石巻市）

◈あの権力者が、あの政治家が医療、介護、私たちの生活の安全を日々考え見守ってくれて…いますか（杉並区）

◈私は統合失調症です。働いたお金を少しお送りします。役立ててください（香川坂出市）

◈不安なく暮らせるシェアハウスを作りたいと思うようになりました。支え合っていきたいな（埼玉鴻巣市）

◈よみごたえあり♪学べます（東広島市）

◈永六輔さんの追悼らいぶでの売り上げから（鎌倉市）

◈「継続は力なり」ですがしんどいです（東大阪市）

◈故永六輔さんに誘われ発起人に」なり少しづつですが続けています。直接、すぐ必要な所へ届けられることが素晴らしい（札幌中央区）

◈コロナと災害心休まることはないけれど、ゆめごよみ風だよりで力をもらっています（世田谷区）

◈コロナで利用者の皆さん困っていることでしょう。使ってください（江東区）

◈豪雨で被害を受けた障害のある方々も多いのではないでしょうか。わずかですがお役に立てれば幸いです（豊島区）

◈与えたら黙り受けたら語る。こんな人になりたいなー（岐阜瑞穂市）

◈みのおチャリティコンサートの収益金です（箕面市）

編集後記

クレジットカードでのご寄付を9月から始めました。思いのほかたくさんの方からご寄付を頂き、職員一同ありがたく思っています。ただし12月のカード決済によるご寄付につきましては本文（7ページ）にありますように、領収書は2022年1月２０日の日付となります。どうぞご注意ください。（八幡）

ネット一覧

ゆめ風ネットワーク連絡先 06-6321-5662

さっぽろ 011-817-9080　秋田 018-846-3916 みやぎ 0220-44-4171　いわき 0246-68-8925　新潟 025-201-6061　三条 0256-34-2448　富山 076-444-3753　福井 0776-27-2621 上田 0268-39-4568　加賀 076-243-6786　本庄 0495-24-8902　埼玉 048-738- 4593　千葉 047-485-1245　JDS

（東京） 03-6907-1824　東大和 042-567-2622　立川 042-525-0879　横浜港北 045-431-4070　静岡 054-288-6068　きくがわ 0537-35-8303　愛知 052-841-9888　名古屋 052-745-1001　岐阜 058-388-1864　三重 059-202-5782　滋賀 0775-43-2844　JCIL(京都) 075-671-8484　奈良 0745-42-2919　ひょうご 078-642-0142　はりま 0792-84-4668　伊丹 0727-79-1771　明石 0789-13-5315　淡路島 0799-70-6145　わかやま 0734-72-6731　岡山 0866-97-0206　しまね 0854-83-2183　ひろしま 082-294-4185　尾道 0848-38-9551　やまぐち 0833-76-0550　かがわ 0877-73-4177　愛媛 089-924-8533　まつやま 089-986-3245　今治 0898-54-4365　徳島 0886-02-1003　福岡 0949-62-6003　大分 0975-97-5315　宇佐 0978-32-3365　ながさき 0957-46-3858　諫早 0957-28-3800　さが 0952-74-4568　熊本 0963-66-3329　みやざき 0985-31-4800　かごしま 0994-63-8839　沖縄 0988-90-4890